平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年１月30日

上 場 会 社 名	株式会社　寺岡製作所	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	4987	URL	http://www.teraokatape.co.jp/
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)寺岡　敬之郎	
問合せ先責任者	(役職名)取締役管理本部長	(氏名)内藤　雅和	(TEL) (03) 3491-1141
四半期報告書提出予定日	平成25年２月14日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	14,925	△3.1	△55	―	229	―	20	―
24年３月期第３四半期	15,397	△12.2	△147	―	△78	―	△215	―

（注）　包括利益　25年３月期第３四半期　160百万円(― %)　24年３月期第３四半期　△306百万円(― %)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年３月期第３四半期	0　78	―
24年３月期第３四半期	△10　93	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	33,073	26,074	78.8
24年３月期	30,434	23,838	78.3

（参考）　自己資本　25年３月期第３四半期 26,074百万円　24年３月期 23,838百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年３月期	―	5　00	―	5　00	10　00
25年３月期	―	5　00	―		
25年３月期(予想)				5　00	10　00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	21,000	3.3	80	―	110	―	50	―	1　90

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　有

④　修正再表示　　：　無

（注）詳細は、「添付資料」３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	26,687,955株	24年３月期	20,081,955株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	353,045株	24年３月期	352,787株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	26,334,998株	24年３月期３Ｑ	19,729,264株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に、一部で回復する動きを見せておりましたが、通期における円高基調、欧米先進国の財政緊縮による景気の下押しや新興国を含めた世界的な景気減速等により依然として予断を許さない状況で推移いたしました。

当社グループにおきましては、平成24年度を初年度とする３ヵ年の「中期経営計画」に即し、競争力のある新製品の開発や生産技術の改善による収率向上に注力するとともに、海外売上を拡大すべく積極的な営業活動に努めて参りました。しかしながら関連市場の回復の遅れ等により、電機・電子用テープの受注が当初予想に比して伸び悩みました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、149億25百万円(前年同期比3.1%減)となりました。営業損益につきましては、インドネシア生産子会社の試作期間が長引いたことに伴い減価償却費等の費用発生が先行したことにより、55百万円の損失計上となりました。しかしながら原材料価格が落ち着きを見せたことに加えて、徹底した収率の改善、販売コストの低減、経費の見直し等に取り組んだことにより、四半期ベースでは改善傾向にあります。また経常利益は、第３四半期末の円安進行に伴う為替差益を計上したため、２億29百万円(前年同期は78百万円の経常損失)、四半期純利益は20百万円(前年同期は２億15百万円の四半期純損失)となりました。

当社グループの事業は、粘着テープの製造・販売の単一セグメントでありますが、製品部門別の売上状況は以下のとおりです。

〔梱包・包装用テープ〕

物流市場は依然として全般的に荷動きが停滞しており、震災復興案件も低調であったため、当製品部門の売上高は、30億43百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

〔電機・電子用テープ〕

パソコンやデジタル家電向け電子用テープは、依然として厳しい環境が継続しております。導電性粘着テープの新製品が採用される等明るい兆しも見え始めておりますが、全般的には電機・電子関係の低調な売上をカバーするには至りませんでした。当製品部門の売上高は、69億82百万円（同11.2%減）となりました。

〔産業用テープ〕

Ｐ－カットテープ（ポリエチレンクロス粘着テープ）は、新規販売先獲得等により販売量が増加し、10月には月間販売数量の過去最高記録を更新するとともに、養生用布テープの売上が好調であったため、当製品部門の売上高は、49億０百万円（同9.3%増）となりました。

（単位 ： 百万円）

粘着テープ事業 製品部門別	当連結会計年度 平成24年４月１日から 平成24年12月31日まで		前連結会計年度 平成23年４月１日まで 平成23年12月31日まで		増減金額	前期比 %
	金　額	構成比 %	金　額	構成比 %		
梱包・包装用テープ	(158) 3,043	20.4	(136) 3,045	19.8	△2	△0.1
電機・電子用テープ	(3,929) 6,982	46.8	(4,213) 7,867	51.1	△885	△11.2
産業用テープ	(446) 4,900	32.8	(317) 4,484	29.1	416	9.3
合　計	(4,534) 14,925	100.0	(4,667) 15,397	100.0	△472	△3.1

（注）（　　）内の数字は海外売上高であります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比べ8.7％増加し330億73百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ4.9％増加し168億85百万円となりました。これは、主として現金及び預金の増加によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ12.4％増加し160億66百万円となりました。これは、主としてインドネシア生産子会社による固定資産の取得によるものです。

当第３四半期末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ6.1％増加し69億98百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べ14.7％増加し57億67百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の増加によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ21.5％減少し12億31百万円となりました。これは、主に長期借入金の返済によるものです。

当第３四半期末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ9.4％増加し260億74百万円となりました。これは、主に第三者割当増資による資本金、資本剰余金の増加によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、78.8％（前連結会計年度末78.3％）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間において、経常利益が業績予想を超えておりますが、経営環境が不透明であること等を踏まえ、現在のところ、前回発表（平成24年10月29日）の連結業績予想を変更しておりません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示致します。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合は法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う、当第３四半期連結累計期間の営業損失、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,081	7,252
受取手形及び売掛金	5,954	5,777
商品及び製品	798	914
仕掛品	1,370	1,150
原材料及び貯蔵品	1,031	1,136
繰延税金資産	212	212
その他	651	450
貸倒引当金	△9	△10
流動資産合計	16,090	16,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,524	10,773
減価償却累計額	△5,681	△5,873
建物及び構築物（純額）	2,843	4,899
機械装置及び運搬具	19,513	21,728
減価償却累計額	△16,950	△17,355
機械装置及び運搬具（純額）	2,562	4,372
土地	3,959	4,009
建設仮勘定	2,354	60
その他	2,002	2,034
減価償却累計額	△1,905	△1,902
その他（純額）	96	131
有形固定資産合計	11,816	13,473
無形固定資産	53	75
投資その他の資産		
投資有価証券	2,157	2,229
繰延税金資産	107	96
その他	158	194
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	2,419	2,517
固定資産合計	14,290	16,066
繰延資産		
開業費	53	120
繰延資産合計	53	120
資産合計	30,434	33,073

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,111	3,407
短期借入金	3	3
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	29	208
未払費用	534	402
その他	848	1,245
流動負債合計	5,027	5,767
固定負債		
長期借入金	875	500
繰延税金負債	8	16
退職給付引当金	404	405
資産除去債務	168	168
負ののれん	25	6
その他	86	134
固定負債合計	1,568	1,231
負債合計	6,595	6,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,904	5,057
資本剰余金	3,491	4,643
利益剰余金	16,405	16,195
自己株式	△136	△136
株主資本合計	23,664	25,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	402	454
為替換算調整勘定	△228	△139
その他の包括利益累計額合計	174	314
純資産合計	23,838	26,074
負債純資産合計	30,434	33,073

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	15,397	14,925
売上原価	12,428	11,743
売上総利益	2,969	3,182
販売費及び一般管理費	3,117	3,238
営業損失（△）	△147	△55
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	61	62
為替差益	－	294
負ののれん償却額	19	19
その他	34	46
営業外収益合計	116	423
営業外費用		
支払利息	25	18
為替差損	17	－
たな卸資産廃棄損	－	83
その他	4	37
営業外費用合計	47	138
経常利益又は経常損失（△）	△78	229
特別損失		
災害による損失	69	－
投資有価証券評価損	104	－
特別損失合計	174	－
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△253	229
法人税等	△37	208
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△215	20
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△215	20

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△215	20
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43	51
為替換算調整勘定	△134	88
その他の包括利益合計	△90	140
四半期包括利益	△306	160
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△306	160
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

当社及び連結子会社の事業は、粘着テープの製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年４月４日付で、伊藤忠商事株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第３四半期連結累計期間において資本金が11億52百万円、資本準備金が11億52百万円増加し、当第３四半期連結会計期間末において資本金が50億57百万円、資本剰余金が46億43百万円となっております。